

# 県図なう。

令和2年7月15日 発行  
第112号 (毎月15日発行)  
<http://www.library.pref.kagoshima.jp>  
Tel : 099-224-9511

県立図書館 ホームページ



県立図書館 フェイスブック



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

鹿児島県立図書館

## ホットニュース



## 県立図書館、「フェイスブック」始めました!

### — 図書館の新鮮な話題をお届けします —

県立図書館では、これまでも広報紙「県図なう。」やホームページ等で、様々な情報をお伝えしていますが、今年4月から新たに「Facebook® (フェイスブック)」を開設しました。

広報紙やホームページでは伝えきれない当館の新鮮な話題や、県内各地の図書館の情報を掲載しています。

右のニュースは、「児童文化室の紙芝居をテーマ別に並べ替えました」というものです。これまで五十音順に排列していた紙芝居を、対象年齢や内容ごとに30のテーマで分けたことで、利用者の皆様に「選びやすい」「分かりやすい」と喜ばれているものです。



日々新しく、よりよいものを目指す当館の図書館サービスの最新情報をお届けします。ぜひ、当館のフェイスブックを御覧になり、フォローしてください。

## 図書館で探そう、調べよう!

### ～レファレンス(調査相談)事例から～ 「母校の校歌について調べたい」

「2017年5月27日の南日本新聞を見せてください。」そう言って2階のカウンターにいらっしゃった利用者の方。新聞記事の検索をお手伝いしながらお話をうかがっていると、県立大宮高等学校の特集の記事をお探しであるということがわかりました。その記事を私も一緒に見せていただき、驚きました。大宮高校の校歌は作詞者が、旧大宮市出身の海音寺潮五郎氏、そして作曲者が、NHK連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルとなった古関裕而氏なのだそうです。著名な2人による校歌です。記事の内容や利用者のお話から、大宮高校の同窓生にとって、校歌は誇りであることが伝わってきました。

そのお話を聞いた後、私も母校の校歌を歌ってみようと試みましたが、残念ながら1番の途中までしか歌えません。でもどうしても思い出したい。そんな時、とても役立つのが、『鹿児島県校歌集』(春日三郎編集)です。県内の小中高等学校から、特別支援学校、私立学校にいたるまで、多くの学校の校歌が掲載されています。



また、この資料に掲載されていない校歌については、各学校の記念誌を調査すると、見つかるかもしれません。例えば、北原白秋が作詞した県立国分高等女学校の校歌は、『[国分高等女学校]学校創立より現在まで』に掲載されています。また、県立甲南高等学校の記念誌『甲南』には、現在の校歌のほかにも、第二鹿児島中学校、第二高等女学校の校歌の歌詞も掲載されていますよ。

みなさんは母校の校歌、覚えていらっしゃいますか? お調べの際には、県立図書館を御活用ください。

## 新着図書案内

### 《一般図書》 7月15日 (水)

- 『もっと! 京大変人講座』  
市岡孝朗/[ほか] 著 三笠書房
- 『石の声を聴け』 須田郡司/著 方丈堂出版
- 『ヤンバルの深き森と海より』  
目取真俊/著 影書房
- 『毒へび全書』 田原義太慶/編著 グラフィック社
- 『縁起のよい樹と日本人』 有岡利幸/著 八坂書房

### 《児童図書》 7月23日 (木)

- 『花のすきなおかみ』  
きむらゆういち/文 新日本出版社
- 『そのときがくるくる』 すずきみえ/作 文研出版
- 『ぼくらしく、おどる』 大前光市/著 学研プラス
- 『朝顔のハガキ』 山下みゆき/作 朝日学生新聞社
- 『きみに応援歌(エール)を 古関裕而物語』  
大野益弘/著 講談社

## 催し物の御案内

### 「自由研究」の準備、始めましょう。

#### — 児童文化室、7月のミニ展示 —

「今年の自由研究、何にしようかなあ。」  
夏休みの自由研究のテーマや内容について迷っている小・中学生と、その保護者の皆様、県立図書館がお手伝いいたします。



児童文化室では、6/23～8/30の期間、「ワクワク☆自由研究」と題して、自由研究に関する本を展示・貸出しています。どうぞ御利用ください。

#### — 一般閲覧室のミニ展示、「映える”本”集めました！」 —

では、写真の撮り方に関する本や美しい写真が掲載された本を集めて展示しています。

写真を撮る機会が多い夏。思い出の一枚を上手に撮るコツ、つかみませんか？



## 図書館職員のつぶやき

「ここが新しいスタートライン」

令和2年3月「鹿児島県立図書館基本的運営方針」が策定された。今後10年を見据えての方針である。方針は、その図書館が向かうべき「方向」、「どんな図書館として運営するのか」を示すものである。方針が示されなければ迷いや混乱も多い。そして、その「方向」の先には、「目的地」である「ビジョン(未来像)」がある。県内の図書館(室)の活躍がしばしばメディアでも流されている。その報道の中に、それぞれの図書館の「こんな図書館でありたい」という「ビジョン」やその現れとしての事業や活動を感じる人が多い。ビジョンが曖昧なところに、成長・進化は難しい。

県内全ての図書館(室)が、ビジョンやその実現に向けた長期の方針のもと、「今」や「来年」を考えられる図書館であるよう、県立図書館は「支える図書館」として役割を果たしたい。

## 県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、この史代/原作 蒔田陽平/ノベライズ の『この世界の片隅に』(双葉社)です。

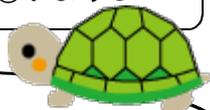
この本は、兄からすすめられました。私はあまり戦争系の本を読むことはないのですが、少し抵抗がありましたが、読んでみました。戦争中の暮らしなどが書かれ、美しい町並みが壊れていくのが、とても苦しかったです。食べ物もあまり手に入らず、苦しんでいることから、改めて、自分の生活を見直そうと思いました。



## 図書館クイズ

にじいろのほん『かばくん』<sup>きしだ えりこ さく</sup> 岸田 衿子/作  
<sup>なかたに ちよこ</sup> 中谷 千代子/絵 (福音館書店) からのクイズです。

かめくんとかばくんがおはなししているよ。  
おはなししているのはなんようび？  
①にちようび ②げつようび ③かようび



ヒント

おやすみのひは いつかな？

こた 答え、自分の名前、<sup>じぶん なまえ</sup> 利用者カード番号<sup>りようしゃ ばんごう</sup>を書いて、児童文化室にある箱に、8月14日(金)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

ぜんかい 前回の答えは「③いちご」でした。

たくさんの御応募ありがとうございました。



## 図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
7月	12	13	14	15★	16	17	18◆
	19	20	21	22★	23	24	25
8月	26	27	28	29★	30	31	1
	2	3	4	5★	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜):9時～17時

■ は、休館日

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(7月15日,7月31日【予定】)

□ は、児童文化室新着図書の日(7月23日)